

横浜市経済局
市民経済労働部
雇用労働課 御中

横浜市技能文化会館 平成28年度事業計画

平成28年1月
指定管理者(株)キャリアライズ

はじめに

平成28年度は、横浜市技能文化会館が指定管理者を導入して3期目に入り、私ども株式会社キャリアライズが指定管理者となって、通算6年目となります。前期（平成23年度～27年度）より

- ・設立以来の「時間・歴史」とその「意味」を今と未来につなげていく場
- ・地域・地元とつながり、人のエネルギーが広がる場
- ・環境・時代の変化を取り入れ進化していく場

を目指して業務に携わってまいりました。

これらは変わることなく、前期中にご指摘いただいた事項を加え、働くスタッフの総合力で更なる業務改善に取り組んでまいります。

平成28年度の事業計画は、

- ・前期の運営で培ったノウハウの整理と強化
- ・選定時においてのご指摘事項の理解と改善にむけての取組
- ・「技文」「横浜しごと支援センター」の更なるブランド力強化

を目指し、一人でも多くの「技文」および「横浜しごと支援センター」の利用者やファンをつくらしていきたいと考えています。それには、行政・関係者、地域・利用者、私どもが三位一体となり、輪(和)の維持・拡大に努めていく所存です。

私たちを取り巻く環境と意識が日々変化する中、横浜市技能文化会館の指定管理者という重責を担えることに感謝し、技能文化会館が「つなげる・広がる・進化する」コミュニティーの拠点として当会館に関わる全ての方々との地域のエネルギーにつなげ、発展させていきたいと、決意を新たにしております。皆様には、引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げますと共に、当社サービスへの叱咤激励の材料として、本計画書をご活用いただければ有難く存じます。

平成28年3月 横浜市技能文化会館
館長 山口亜紀
指定管理者：株式会社キャリアライズ

指定管理期間における運営の基本的な考え方について

前期（平成23年度～27年度）より指定管理者として横浜市技能文化会館の運営に携わっている当社は、今期（平成28年度～32年度）においても次の基本方針に則り、会館運営を行ってまいります。

<拠点としての機能>

1. 横浜市の「技能職振興の拠点」

人で賑わう場として、技能職同士の交流と市民への技能文化の発信を強化

2. 横浜市の「雇用・就労支援の機能」

働く人の情報源として、情報・相談窓口の専門性を発揮

3. 勤労福祉の拠点

市民に愛される場として、勤労者の福祉増進・文化向上の拠点機能を発揮

<運営姿勢>

1. 安全・安心・快適

公共施設として、維持管理を徹底し、多くの方に訪れて頂ける環境を提供

2. 良質とコストダウンの両立

創意工夫による経費縮減に努め、良質とコストダウンの双方を実現

3. 平等・公平・法令遵守

行政の代行者として、平等・公平な利用の確保と法令遵守の徹底

参考) マネジメント方針および社内研修計画

<マネジメント方針>

・チームワークの重視

当社内のチームワーク及びお客さま（利用者、パートナーなど）、行政（市、関係機関など）とのチームワークを重視する。

・3方バランスの原則

3方（利用者、行政、当社）の各メリットのバランスを考える。

・サービス品質の継続的向上

問題・課題および不（不備、不具合、不平、不満など）に常に向き合い、改善・改良を図る姿勢を継続する。

<社内研修の定例実施>

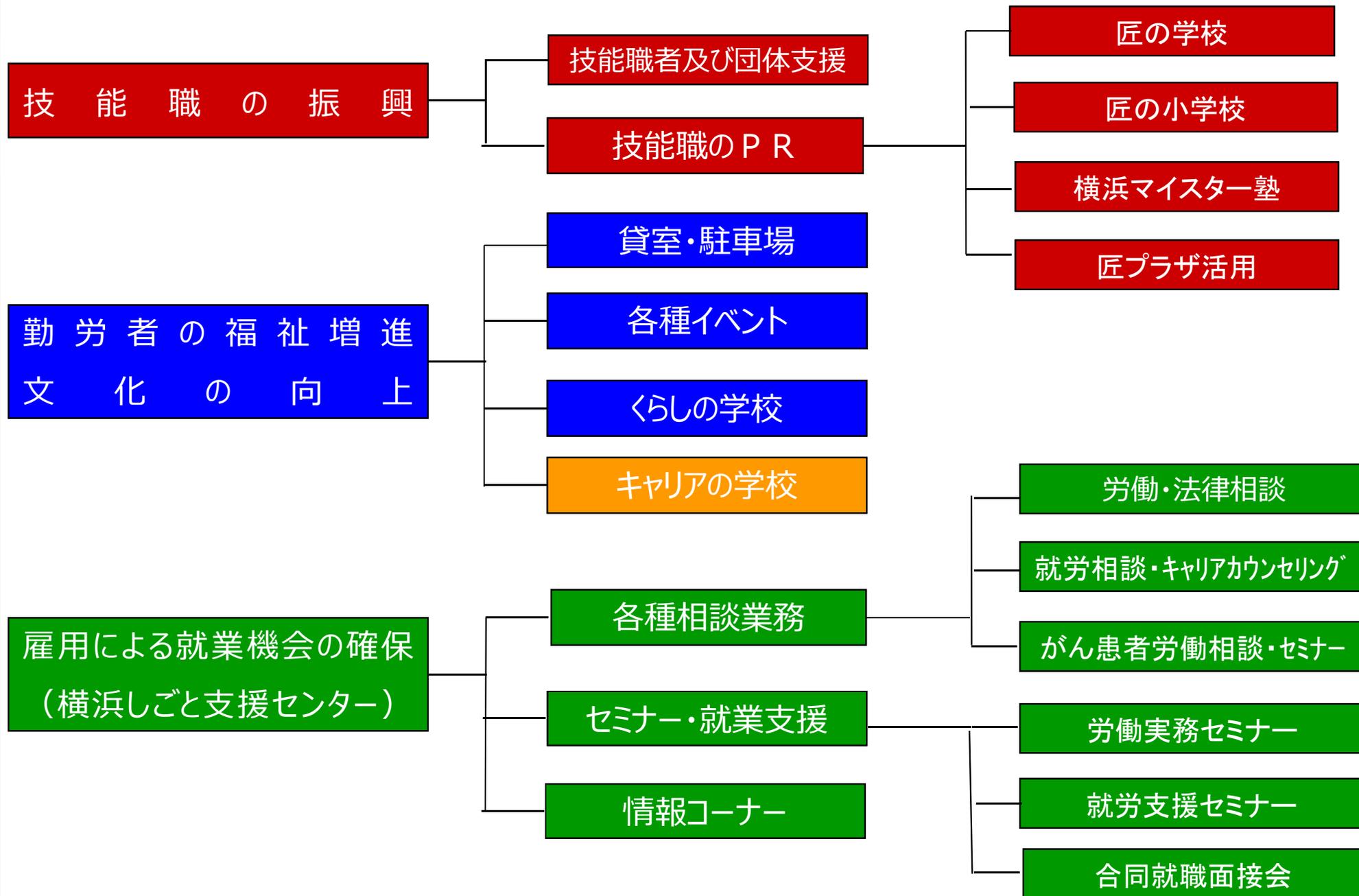
組織と個人の能力向上を目指し、月1回の休館日を研修日として活用する。

・人権尊重、法令遵守、緊急時対応力強化、対人対応力・サービス品質向上、チームワーク力向上、ビジネススキル向上を努めるべく、定期的に社内研修を実施。

一人一人の意識およびマナー向上により安心、安全、信頼の施設運営に繋げていく。

・館内および事務スペースの整理整頓に努め、清潔、効率、安全による顧客満足向上を目指す。

参考) 会館の機能一覧



平成28年度の運営体制

横浜市技能文化会館

(株)キャリアライズ本社
施設管理業務全般支援
契約管理・法務実務・経理業務

館長	包括責任者、組織マネジメント、人材育成
施設運営担当	施設利用予約・受付、利用者対応
施設管理担当	保守管理、環境維持管理
事業担当	技能職振興、自主事業企画
業務効率化担当	行政・キャリアライズ本社窓口、事務担当

業務委託

- 【建物管理】三菱ビルテクノサービス（株）
- 【警備業務】エーエフマネジメント（株）
- 【機械警備】京浜警備保障（株）
- 【エレベータ】横浜エレベータ（株）
- 【自動ドア】（株）神奈川ナブコ
- 【駐車場精算機】三菱プレジジョン（株）
- 【事務委託】（公財）横浜市シルバー人材センター
（駐車場・ホール設営・夜間事務）

※第三者委託については、添付の協議書を参照

横浜しごと支援センター

相談コーナー

社会保険労務士
就業相談員
キャリアカウンセラー
横浜弁護士会

情報コーナー

平成28年度基本方針について

1. 技能職振興

- ①後継者育成支援（小学生向け職業体験など） ②匠プラザの活用
- ③技能職交流室の管理・運営 ④技能職に関する商業市場拡大への貢献と広報強化

2. 雇用による就業の機会の確保

- ①「横浜しごと支援センター」の更なる認知度向上に向けた広報力強化
- ②各就労支援機関、神奈川労働局、横浜市などとの連携強化
- ③質の高い相談業務と対応力強化

3. 勤労福祉の増進および文化の向上

- ①キャリアの学校、くらしの学校の更なるブランド力強化と新規利用者開拓
- ②講座、会館イベントを通じた市民同士の交流醸成と市民の活動支援
- ③販売事業の定着と拡大

4. 施設の運営

- ①スタッフ対応力向上による利用者満足度の向上 ②貸室利用率の維持・拡大
- ③貸室利用料金改定の検討・準備 ④非常時の運営力強化

5. 施設の管理

- ①法令遵守 ②迅速、的確な設備補修 ③省エネ（エネルギーの適正管理）
- ④附帯設備、備品および消耗品の適切な保守・管理
- ⑤快適な環境維持管理の促進 ⑥館内セキュリティー向上の継続

6. 広報・PRの強化による認知度向上

- ①ホームページ改修を含め、「技文」及び「横浜しごと支援センター」の認知度向上
- ②ホームページに関係所管のリンク集を掲載し、よりわかりやすく改修を行う。

＜重点取組＞

1. 若年層向け「匠の小学校」のブランド力強化とものづくり体験の継続

技連協を始めとした技能職者の皆さんとの連携強化と効率的な広報活動を行い「夏休みは技文で「匠の小学校」となるよう「匠の学校」に続くブランドに育てる。

2. 大人向け「匠の学校」「横浜マイスター塾」開催の拡大

- ① 定番の「豆腐づくり」「アイロンがけ」「ペンキ塗り」の継続開催と、新規講座の発掘による技能職者の皆さんとの更なる連携強化と認知度向上を図る。
- ② 新マイスターを含めた「横浜マイスター塾」の定期的な開催と、新規に連続教室開催を提案し、市民とのより多くの接点を創出、横浜マイスター制度のPR強化を図る。

3. 匠プラザの活性化

- ① 匠の学校、匠の小学校、横浜マイスター塾の開催で匠プラザを活用する。
- ② 技能職者（団体、横浜マイスター）に関する情報提供の充実を図る。
- ③ 展示品の入替え、事務スペースのレイアウト変更、物販コーナー拡充を含め、匠プラザ全体に活気を感じさせ、人が集い、来訪者が楽しめる「会館の顔」づくりを促進する。

4. 技能職イベントへの協力

- ① 「よこはま技能まつり」のチラシ・ポスターの製作連携と、当日出店による集客協力を積極的に行う。
新規に、会館利用者のステージ出演協力を検討・提案し、技能文化会館利用者と技能職者を繋げる仕掛けを創出する。
- ② 横浜マイスターに関するイベントへの協力を行う。

5. 商業市場の創出

- ① 技能職団体の職種および職人紹介の方策を検討し、提案・実施に繋げていく。
- ② 外部販売イベント（馬車道マルシェ等）に継続出店し、販路と事業認知の拡大を図る。
- ③ 会館の小規模修繕など、技能職団体への見積依頼や発注の機会を創出する。

6. 技能職の広報・P R、館内の技能職種の視覚化

- ① 利用者の目に留まる場所に、横浜マイスターおよび技能職団体の人物・職種紹介や開催イベント記録を常時掲示し、「技能文化会館ならではの」PRを推進する。
- ② 「ハマの職人」「横浜マイスターガイドブック」の常時配架により、利用者に技能職PRと技能文化会館の設置目的理解を深めるきっかけをつくる。
- ③ 技能職団体への取材を行い、わかりやすく親しみやすいオリジナルの手作り冊子「〇〇の職人シリーズ」製作の拡大・拡充を図り、より多くの方に「技能職」に触れてもらう。
- ④ 技連協と連携し、新規に「あなたの街の職人マップ（仮称）」の製作・活用計画を立案し、認知度向上、販路拡大に繋げる。
- ⑤ 「横浜マイスター塾」開催時において、「横浜マイスターの横顔」を紹介する資料を作成し、横浜マイスターの人物の魅力を伝え、身近に感じてもらう工夫を行う。
- ⑥ ホームページ内に「あなたの街の職人紹介（仮称）」の専用ページ設置を進め、並行して技文ブログなどで、積極的に技能職イベントを紹介、発信を継続する。

雇用による就業の機会の確保に関する業務（横浜しごと支援センター）

＜重点取組＞

1. 質の高い相談業務を継続

- ①労働相談の中で、特に共有すべき事案に関し、神奈川労働局、横浜市と意見交換を行い、相談事例の共有を図ることで良質な相談業務を継続する。
- ②いち早い就労につなげるための丁寧な就労相談及び対応力の強化に努める。

2. 「利用しやすい相談機関」としてアピール強化

- ①労働相談、就業相談、キャリアカウンセリングなど、横浜しごと支援センター内での相談内容の概要・傾向および各種セミナー、合同就職面接会の「利用者・参加者の感想」などをホームページに掲載し、センターの有益性を積極的にアピールする。
- ②「女性のためのキャリアカウンセリング」を新設し、女性カウンセラーによる専用相談日を設け、女性の就労支援を強化する。

3. 公的訓練制度の情報提供の更なる充実を図る

情報コーナー内に設置した「早期就職を目指そう！職業訓練のご案内」コーナーに、神奈川労働局、ハローワーク、神奈川県、横浜市および関係機関で実施する制度のチラシ等の情報・資料をより充実させ、公的訓練制度利用の促進につながるキッカケを提供していく。

4. 合同就職面接会の定期開催を継続

- ①県内、市内企業の参加による新卒・既卒を含む就業希望者の就業機会の拡大と早期就業のための場を継続して創出していく。
- ②「女性のための合同就職面接会」開催の検討を開始する。

雇用による就業の機会の確保に関する業務（横浜しごと支援センター）

5. 就労支援セミナーの定期開催

通常の相談業務に加え、就業相談員による各種就労支援セミナーを定期開催する。
「職業興味検査」「成功する就活」「応募書類作成」「面接対策」
「女性のための就労支援セミナー」

6. 企業経営者や働く人向けの労働実務セミナーの継続開催

労働環境の変化や現状理解を深めるために、相談員（社会保険労務士）による労働実務セミナーを定期開催する（年4回を予定）。

7. 相談対応力の更なる強化

利用者サービス維持・向上のために、相談員同士（法律相談除く）の情報交換を促進し、相互研鑽に努める。

8. がん撲滅対策の関係機関連携

- ①横浜市と連携し、がん患者のための社会保険労務士による相談窓口を設置し、相談支援を行う。
- ②がん対策をテーマにした労働実務セミナーの開催に協力する。
- ③ホームページや館内及び関連機関において広報強化を図り、積極的にがん患者の相談支援を行っていく。

9. 企業向け出張セミナーのトライアル開催

元気で働き続けるための「これからのライフプラン・就業支援セミナー（案）」の新規開催準備を進める。

勤労者福祉の増進及び文化の向上に関する業務

＜重点取組＞

1. 自主事業「キャリアの学校」の継続開催と拡大

- ① 受講者アンケートの分析を行い、ニーズに応える講座プログラムを開発していく。
特に「パソコン教室」のプログラムおよびカリキュラム変更を柔軟に行い、要望に応じていく。
人気の「会社の数字」「会話術」、ビジネス力向上を目的とした「論理的思考」も加え、継続開催していくことで、パソコン教室に並ぶキャリアの学校の軸に育てる。
- ② 「ハマふれんど」と広報連携を図り、会員への広報強化、集客拡大を目指す。
- ③ 新規に「キャリアの学校＜サポート＞」として、市民講師を募り、市民講師活躍の場を提供していくと同時に、人材育成市場の情報共有を図っていく。

2. 自主事業「くらしの学校」の継続開催と拡大

- ① オリジナル企画の「発酵」に注力した「味噌づくり」「梅しごと」などを継続開催し、安定的な集客と同時に新規利用者を獲得していく。
- ② 横浜ものづくり企業とのタイアップ講座の継続開催と新規開拓を行う。
- ③ 新規に「くらしの学校＜サポート＞」として、市民講師を募り、市民講師活躍の場の提供と講座のバリエーション拡大および貸室利用拡大を狙う。

3. 販売事業「技文市」の定着と拡大

- ① 地域イベント（馬車道まつり）への参加による会館認知度向上と地域連携強化を継続
- ② 商材の拡大（技能職商品、タイアップ企業商品の開拓）

4. 地域連携・貢献の強化

- ① 地域連携イベントとして「技文手づくり市」を開催し、事業間連携を強化を図る。
- ② 利用者参加型の「技文サポーターズクラブ」の発足準備を進める。

<重点取組>

1.「顔の見える運営」を促進

- ①貸室受付カウンターにスタッフが常席することや、利用報告書・利用者アンケートの活用、など利用者との対話を更に強化し、利用者のニーズの把握に努め、改善提案を実施していく。
- ②鍵の受け渡し、支払対応等を更に正確・迅速に行い「お待たせしない」「公平公正」な印象を確実なものにし、利用者アンケートにおいて満足度向上（目標90%）を目指す。
- ③独自システムの稼働により、正確かつ迅速な事務処理を継続し、サービス向上を図る。

2.貸室利用促進

- ①貸室用途の多様化を提案し、利用率拡大（目標64.2%）を目指す。
- ②割引制度や利用お試しキャンペーンなど利用料金を見直し、新規利用者獲得に向けての施策を検討していく。
- ③一時利用者や関係者の新規利用を促進し、はまっこカード登録促進、定期利用の拡大に繋げていく。
- ④ホームページでの利用促進掲載と電話、メールでの問合せの迅速対応を強化する。
- ⑤貸室及び共有スペースの美化促進を図り、快適な環境を提供する。

3.緊急時対応力の向上

- ①緊急連絡先の整備、適宜メンテナンスを実施し関係間で共有、必要に応じ速やかな調査、報告を行う。
- ②危機管理マニュアルを作成し、適切な運用に努める。

＜重点取組＞

1. 消防、衛生、建築法規の遵守

2. 老朽設備の適切な更新、補修

三菱ビルテクノサービスとの連携により、建物修繕に関する適切かつ迅速および、より効果的な方策の検討を推進する。

発注にあたっては、見積合わせのうえ、市内中小企業への優先発注に努める。

3. 省エネの推進強化とエネルギーの適正管理

光熱水の運転・点検等に関する記録の分析・検討を行い、運用の改善、省エネ機器の積極的な導入を図り、エネルギーの適正管理に取り組む。

4. 附帯設備、備品および消耗品の適切な保守・管理

①備品管理台帳の適切な更新を行い、備品の保守・管理を促進する。

②貸しロッカーの利用促進し、利用者の利便性とマナー向上の促進を図る。

③附帯設備と備品の更新によるサービス向上と充実化を図る。

5. 快適な環境維持管理の促進

定期清掃、館内巡回による清潔・美観チェックを実施し、利用者が快適に過ごせる空間を提供する。

6. セキュリティー向上の継続

①夜間業務担当者との情報共有を強化、円滑な運営に努める。

②スタッフによる館内巡回強化により、不備や事故を未然に防ぐ努力を行い、安全性向上を目指す。

広報・PR力の強化

＜重点取組＞

1. 効率良い広報活動の拡大

- ①ホームページの改修を実施し、わかりやすく見やすい情報を提供し続けることで閲覧数の維持・拡大を図り、認知度向上と利用者増を目指す。
- ②メールマガジンを年間で延べ25,000通を配信し、有益な情報提供を促進する。
- ③メディア（神奈川、読売、朝日新聞、サンケイリビング等）に積極的に情報提供を行い、情報掲載に繋げる。
- ④近隣区への新聞折込チラシおよびチラシの定期配架を継続し、貸室・駐車場、自主事業、および横浜しごと支援センターのアピールを行い、認知度向上、来館者数増を狙う。
- ⑤販売事業の協力企業や「ハマふれんど」との連携を図り、WEBや印刷物などの相互リンクによる広報強化を図る。
- ⑥地域イベント（馬車道マルシェ）参加により、地元力の促進を図る。
- ⑦チラシやPOPなど紙資料の自前製作によるタイムリーかつ臨機応変な製作とコスト削減による効率化の更なる推進を図る。

2. 館内広報の工夫と向上

- ①外壁のガラスケース内に「技能文化会館」のイメージできる職人の関連した展示や掲示を行い、定期的なメンテナンスで常に視覚的に「楽しめる会館」のPR強化を行う。
- ②正面入口のモニターや壁面による情報発信強化し、利用者に有益な情報を提供する。
- ③「ハマの職人」DVDを常時放映し、技能職を身近に感じてもらえるキッカケをつくる。

3. WEB利用時のセキュリティ確保

常に安全かつ適切な情報を受発信できる環境を整備する。

平成28年度予算

●収入 (税込、単位:千円)

科目	金額	内訳	
市が支払う経費	125,076	指定管理料	
利用料金収入	貸室	39,505	貸室収入
	駐車場	19,899	駐車場収入
貸館事業小計		59,404	
自主事業収入	会館講座	10,350	講座収入(匠の学校、キャリアの学校、くらしの学校)
	イベント	800	イベント収入(匠の小学校等)
	物販	1,950	物販収入(技文市)
	しごと支援	3,300	しごと支援収入(合同面接会等)
会館事業小計		16,400	
その他収入	4,703	テナント共益費、コピー機、公衆電話、貸しロッカー、自動販売機	
収入合計	205,583		

自主事業収入	16,400	
自主事業支出	10,650	
自主事業収支	5,750	

目的外使用許可収入	3,650	自動販売機、物販
目的外使用許可支出	352	自動販売機、携帯電話アンテナ、物販
目的外使用許可収支	3,298	

良質とコストダウンの双方実現を目指す。
 貸館事業収入の維持および自主事業収入拡大
 (目標16,400千円)を目指し、創意工夫による
 経費縮減に努め、バランスと効率の良い運営を行う。

●支出

科目	金額	内訳		
人件費	社員人件費	64,450		
	しごと支援	労働相談員	9,609	特定社会保険労務士
		キャリアカウンセリング	3,999	キャリアカウンセラー
		弁護士会相談員	3,029	弁護士相談員
しごと支援計	16,637			
人件費計		81,087		
管理費	事務費	事務管理費	6,495	本社事務管理費用
		事業コーディネーター	6,480	本社事業コーディネーター費用
		事務管理費計	12,975	
	施設管理費	光熱水費	16,502	電気・ガス・水道
		設備管理	24,244	常駐設備管理業務、遠隔監視
		設備保守点検	8,737	電気設備、消防設備、駐車場、シャッター、空調設備の保守
		清掃関連	13,878	日常清掃、定期清掃
		環境衛生管理	2,130	空気環境測定、受水槽清掃、害虫防除等
		機械設備保守	2,540	エレベーター、自動ドア、駐車場精算機保守
		警備業務	3,720	有人警備、夜間機械警備
		修繕費	4,000	施設修繕費用
		施設消耗品	451	施設に関する消耗品(トイレットペーパー、ゴミ袋等)
		施設管理費計	76,202	
		管理費計		89,177
会館運営費	事務消耗品	1,296	事務用品	
	通信運搬費	1,173	電話・インターネット及び運送料	
	ネットワーク管理費	726	ネットワークセキュリティ等管理費用	
	賃借料	1,529	リース費用(複合機、駐車場精算機)	
	旅費交通費	233	社員業務用交通費	
	図書費	378	図書購入費用(3F情報コーナー新聞等)	
	備品費	648	附帯設備等備品購入費用	
	事務委託費	受付業務	2,030	夜間受付補助業務委託
		多目的ホール	3,000	多目的ホール設営業務委託
		駐車場管理	5,580	駐車場管理業務委託
	事務委託費計	10,610		
事務費計		16,593		
自主事業費	講師謝金	3,456	講座講師謝金(匠の学校、キャリアの学校、くらしの学校)	
	材料費	2,380	講座材料費(匠の学校、キャリアの学校、くらしの学校)	
	イベント費	1,322	イベントに関わる費用(匠の小学校等)	
	商品仕入	1,432	物販商品仕入	
	しごと支援	224	しごと支援イベント等の費用	
	自主使用貸室	1,836	会館事業で使用した貸室の費用	
会館事業費計		10,650		
広告費	ホームページ維持費	829	会館ホームページ維持管理費	
	ホームページ制作費	3,240	会館ホームページ制作費(初年度のみ)	
	印刷費	356	印刷物作成費用(名刺、イベントチラシ等)	
	メディア広報費	2,421	新聞、インターネット等有料広告	
広告費計	6,846			
事務費計		34,089		
会費		170	諸会費(博物館協会、駐車場協会)	
その他の支出	目的外使用料	352	自動販売機、携帯電話アンテナ、物販コーナー	
	雑費	708	採用研修費、印紙税・租税、有線放送等	
	その他の支出計	1,060		
支出合計	205,583			

平成 28 年 3 月

横浜市長 林 文子 様

株式会社キャリアライズ
代表取締役社長 喜入 深至



横浜市技能文化会館の指定管理に係る
一部業務の平成 28 年度外部委託予定について

横浜市技能文化会館の指定管理に係る一部の業務について、平成 28 年度は次のとおり外部委託したく、横浜市技能文化会館の管理運営に関する基本協定書第 19 条の規定に基づき、協議します。

	業務名	委託先	業務内容	契約方式	備考
1	エレベータ 保守点検業務	横浜エレベータ株式 会社	エレベータ点検	随意契約	
2	会場設営業務	公益財団法人 横浜市シルバー人材 センター	多目的ホールの 設営	随意契約	
3	駐車場管理業務	公益財団法人 横浜市シルバー人材 センター	駐車場の入出庫 管理	随意契約	
4	事務管理業務	公益財団法人 横浜市シルバー人材 センター	貸室の管理、整頓	随意契約	
5	トータルビル管 理サービス業務	三菱電機ビルテクノ サービス株式会社	会館の設備保守全 般	随意契約	公募時の 提案書による
6	有人警備業務	エーエフマネジメン ト株式会社	会館内の警備	随意契約	